

今週（4月7日から4月11日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コール市場は、米国の相互関税政策に関する影響が注目されたものの、コール市場では目立った変化は見られず、週を通して落ち着いて推移する展開となった。

無担保コールO/Nは、邦銀業態の調達を中心に0.475～0.477%のレンジでの出会いとなったことから、加重平均レートは、10日(木)まで0.476～0.477%の横ばい圏での推移となった。11日(金)は、週末となったものの特段大きな変化は見られず、概ね同水準での出会いが継続された。

日銀当座預金残高は、国債発行による減少や財政資金の支払いによる増加を伴いつつも、概ね520兆円台後半で安定的に推移する展開となった。

●レボ市場

今週のGCT/Nは、0.470～0.505%での出会いとなった。週を通してオファーサイドの資金調達ニーズが強かったことから、概ね付利金利近辺での推移となった。

SCについては、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーン堅調に推移した。

9日(水)に実施された6M物入札は、しっかりとした結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

11日(金)に実施された3M物入札は、強い結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、月末発行週にあたり、不動産、電気、ガス、小売など複数の業態から大型発行がみられた。

市場残高は、3月末に有利子負債圧縮の影響により19兆円台まで減少したものの、期明け後は徐々に回復しており、今週は22兆円近辺での推移となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円 中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
4/7（月）	31,136.58	1.110	145.75	0.477	0.492	5,273,800
4/8（火）	33,012.58	1.255	147.73	0.477	0.489	5,275,600
4/9（水）	31,714.03	1.270	145.33	0.476	0.468	5,263,300
4/10（木）	34,609.00	1.370	146.90	0.476	0.492	5,283,300
4/11（金）	33,585.58	1.345	143.40	0.477	0.495	5,263,200

来週（4月14日から4月18日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
4/14 (月)					
4/15 (火)		20Y 4/16発行 10,000億円	交付税借入 4/23借入 11,000億円		
4/16 (水)	2月の機械受注統計(内閣府 8:50)				3月の米小売売上高 2月の米企業在庫 3月の米鉱工業生産・設備稼働率 3月のユーロ圏消費者物価指数改定値 3月の英消費者物価指数
4/17 (木)	中川審議委員 群馬県金融経済懇談会における挨拶 3月の貿易統計(財務省 8:50) 2月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	流動性供給 4/18発行 6,500億円	TB1Y 4/21発行 32,000億円		ECB定例理事会 3月の米住宅着工件数
4/18 (金)	3月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 2月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	TB3M 4/21発行 45,000億円			EURO、LONDON祝日(Good Friday)

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/14 (月) 日銀予想	300	▲ 200	100	国債買入	1,700		1,700	1,800	源泉税揚げ TB3M発行▲45,000 償還45,000
4/15 (火) 弊社予想	500	76,000	76,500				0	76,500	年金定時払い 個人向け発行▲6,100償還800 交付税借入▲11,000 期日13,000
4/16 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 9,000	▲ 9,500	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 17,500	20Y発行▲10,000
4/17 (木) 弊社予想	▲ 1,000	4,000	3,000				0	3,000	
4/18 (金) 弊社予想	▲ 1,500	8,500	7,000				0	7,000	流動性供給▲6,500
週 間 合 計	▲ 2,200	79,300	77,100	—	▲ 6,300	0	▲ 6,300	70,800	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの底堅い展開が見込まれる事から、レート水準は今週と横ばい圏での推移が予想される。 債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.47～0.50%程度の水準で推移することが予想される。 短国市場は、17日(木)に1Y物、18日(金)に3M物の入札実施が予定されている。 CP市場は、16日(水)に五・十日の前倒し発行が予定されていることから、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では16日(水)に2月の機械受注統計、17日(木)に中川審議委員 群馬県金融経済懇談会における挨拶、3月の貿易統計、18日(金)に3月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では16日(水)に3月の米小売売上高、3月のユーロ圏消費者物価指数改定値、17日(木)にECB定例理事会、3月の米住宅着工件数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。